



かない ひさお
金井 久男
(日本共産党安中市議員)

庁舎建設市民アンケート・郷原地区の処分場計画地の現状・国民健康保険制度・市上空へのオスプレイの飛行について

多数意見の尊重について

問 なぜ現在地の多数意見でなく、多数とは異なる2番目の結論に持っていたのか。

答 災害時に対応可能な防災スペースを確保できる場所が1位であつたほか、議会での要望書が「安高跡地が最適」と提起されたことなど、総合的に判断しました。

問 古い庁舎のみを建て替えることが、一番のコスト削減ではないか。財政に対する懸念をなぜ、無視したのか。

答 建設には、多額の費用がかかる中で、コスト削減に注力し、将来負担の軽減を図れるように努力していきます。

国保税、子どもの均等割について

問 一般会計から、子どもの均等割に見合う補助金を子育て支援として出す自治体が増えてきた。検討の余地があるのではないか。

答 未就学児にかかる均等割額を

5割軽減とする改正が、令和4年度から施行となります。

オスプレイの飛行について

問 相馬原で自衛隊の訓練があるが、オスプレイは非常に事故率が高い。騒音、爆風、落下物の事故など市民から通報があればきちんと記録を残すべきではないか。

答 重大な事案は今後記録するなどと適切に対応していきます。その他、郷原地区の処分場計画地の現状について質問しました。



老朽化した旧庁舎・中庁舎



ながしま ようこ
長 嶋 陽 子
(公明党)

ワクチン接種の推進・誰一人取り残さない学校現場での取り組みについて

子宮頸がんワクチン接種について

問 接種状況は。

答 平成30年度が対象者215人のうち接種者が延べ1人、令和元年度が対象者226人のうち接種者が延べ13人、国から定期接種の対応に関する一部改正があり、リーフレットを送付するなど情報提供を行った令和2年度が対象者226人のうち接種者が延べ69人でした。なお、今年度10月末までの対象者214人のうち接種者は、延べ102人です。

問 本年11月に積極的勧奨差し控えの終了が了承され、令和4年4月から個別勧奨の実施が決まったが、今後の情報提供は。

答 標準的な接種年齢に当たる中学校1年生相当年齢の女子と接種対象最終年度の16歳になる女子に、予診票、リーフレットを郵送する予定です。

特別支援学級の学習支援について

問 タブレット端末活用課題は。

答 在籍児童生徒の学年や特性の違いによって、タブレット端末を同様に活用させることが難しく、一人一人の特性やICT活用能力の育成に応じた活用の方について、教職員が研究し、実践していく必要があると考えています。

問 文章や図形を読解するのが困難な児童生徒への学習を助けるデジタル教科書導入の考えは。

答 今後、検討します。



タブレット端末使用の様子